

行雲流水

No. 3 3 8 令和5年8月21日発行

2学期始業式 校長式辞

校長 寒河江 正人

生徒諸君、おひさしぶりです。夏休みは、しっかりと休養・充電しましたか？
私は、「地味ですが、静かに、心穏やかに」過ごしました。
読書をしながら、「ゆっくり、じっくり、自分と向き合って考える時間」ができました。
たとえ「特別なこと」をしなくても、「心穏やかに過ごせた」のであれば、何よりです。

例年になく猛暑の夏、「熱中症警戒アラート」が発令され、危険な日が続いております。
長期予報では、まだまだこの暑さは続くようですね。
一方、「線状降水帯がもたらす大雨による自然災害」等が、またも、その猛威を振るい、
各地で多くの方々が被災されるなど、実に激しく過酷な状況での生活が続いております。
そのような状況であっても、私たちは、しっかりと地に足をつけて、「賢い知恵と笑顔」で、
「明るく、前向きな姿勢」で、楽しく、そして成長する有意義な生活をしていきましょう。

さて、本日8月21日（月）より、2学期（授業日数87日）のスタートです。
これからの足かけ5ヶ月、128日間。起きて活動している時間に換算をしてみると、
およそ2048時間あるのです。
さあ、あなたは、「あなたに与えられたこの限りある時間」をどうつかいますか？

私は、いろんなことを「食欲に学ぼう・食欲に体験してみよう」と考えています。
読みたい本・知りたいこともあるし、会ってみたい人・話してみたい人もいるし、
何度も失敗してくじけているのに、懲りずにまたチャレンジしてみたいこともあります。
だから、1分・1秒たりとも、時間は惜しい。無駄にしたくない。
ぐずぐず、くよくよしてる暇はない。誰かを悪く言ったり、誰かと争ってる暇はない。

人生の大抵のことは、不安や不満、心配だけしても、何も変わらない。
不安や不満、心配するだけのために、無駄に時間を費やすくらいならば、
たとえどんなに小さくたっていい。たとえ誰にも少しも気付かれなくたっていい。
自分で考え、自分で決めて、自分なりの具体的な行動をまず1つ起こしてみよう！
過去は変わらないが、あなたの未来は、まだこれから変えられる可能性があるのです！
2学期、「あなたに与えられたこの時間」あなたなりの静かなチャレンジに期待しています。